

# ナシ新品種 「涼豊(ナシ福島1号)」の育成

福島県樹試験場 栽培部  
平成10年～平成15年度試験研究成績書  
分類コード 04-03-03000000

部門名 果樹-ナシ-育種・選抜  
担当者 佐藤 守・岡田初彦・小野勇治

## I 新技術の解説

### 1 要旨

- (1) 「涼豊」は「新高」(♀)×「豊水」(♂)の交雑実生から選抜されたナシ新品種で2004年4月に種苗法に基づく品種登録を申請した(図1、図2)。
- (2) 赤ナシで果形は偏円形で果重は600～900gと大果である(図3)。特に短果枝で7月中旬からの果実肥大が顕著である(図4)。果点が大きく、成熟果は明黄橙色(9YR1905)の果皮に黄緑化した果点が目立つ独特の外観を呈する。収穫前落果は認められない。年により有てい果が混在する。
- (3) 開花期は「新高」と同時期で「豊水」より1～2日早い。花粉はほとんど無く発芽力も無い。交配親和性を表すS遺伝子型は「豊水」と同じS3S5で、「豊水」とは交配不親和であるが他の主要品種とは交配親和性である。
- (4) 収穫期は「豊水」より7日～10日遅く9月下旬から10月上旬で、収穫期間は10～15日である。未熟果では粉臭と石細胞を感じるが、完熟すると石細胞は気にならない。
- (5) 肉質は中で「豊水」、「あきづき」よりやや粗だが「南水」よりは滑らかである。「豊水」、「あきづき」と比較してシャリ感が強く食感が良い。果肉色は白で蜜の発生は認められない。食味は糖度13～14%と甘味多く、リンゴ酸0.06～0.08%と酸が少なく、果汁が多く食味良好である。日持ち性は23℃で14日程度。1℃で12月まで貯蔵可能である。
- (6) 冷夏年(2003年)でも不定芽新梢の花芽分化率は50%を越え、腋花芽の着生は極めて良好である。えそ斑点病は病徴発現性であるが、黒斑病抵抗性で、黒星病には「幸水」より強い。

### 2 期待される効果

本品種は、9月下旬から10月上旬に収穫できる中晩生品種であり、大果で甘味が多く、多汁で食味良好である。また貯蔵性に優れ、12月まで冷蔵が可能である。従って「豊水」以後から年末まで食味の良好なナシとして有利販売が期待できる。果実肥大、腋花芽着生ともに良好であり、黒斑病抵抗性で黒星病にも強い栽培は容易である。

### 3 適用範囲

県内平坦部

### 4 普及上の留意点

- (1) 開花期が早いので晩霜害に注意する。受粉には前年の貯蔵花粉を用いる。
- (2) 短果枝の果実は腋芽果と比較し果実肥大は良好であるが、果実のそろいは腋芽果の方が良い。従って長果枝を主体とした側枝利用で品質が安定する。着果過多や樹勢衰弱樹では変形果が多くなるので適正な着果管理に留意する(表2)。
- (3) 年により7月中下旬から8月上旬にかけて裂果が発生する。特に7月中旬の夏季せん定は裂果を助長するので避ける。また、成熟期には長大な副芽枝を有する果そうで、ていあ部に筋が認められる果実では、過熟になると新高型の裂果が発生するので収穫を遅れないように留意する。
- (4) 収穫期は、果皮表面が黄金色になり、果梗部にわずかに緑色が残る状態が適熟期である。硬度4.5～5.0ポンド、地色4.0～5.0を収穫の目安とする。なお、貯蔵用の果実はやや早めの収穫とする。
- (5) 腋花芽着生は極めて良好だが、新梢は太く硬いので側枝候補枝は成熟期までに誘引が必要である。
- (6) えそ斑点病は病徴発現性であるので、高接ぎをする場合は、中間穂品種のウイルス検定が必要である。特に「新高」では、えそ斑点病ウイルスを保有している場合が多いので注意が必要である。

## II 具体的データ等



図1 「涼豊」

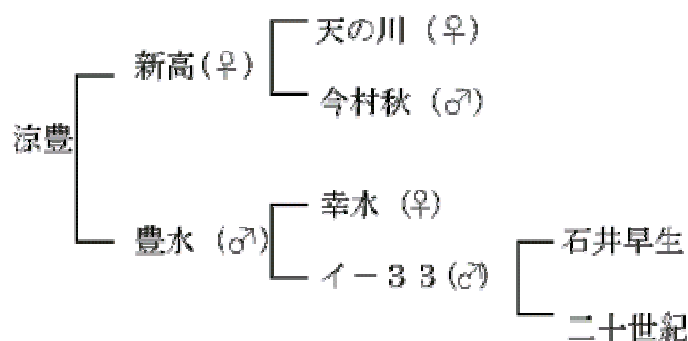


図2 「涼豊」の育成系統図

表1 「涼豊」の開花期と収穫期及び果実品質

| 調査樹        | 調査年         | 開花始<br>(月.日) | 開花盛<br>(月.日) | 収穫期<br>(月.日) | 果重<br>(g) | 糖度<br>(%) | PH  | リンゴ<br>酸(%) | 硬度<br>lb. |
|------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------|-----|-------------|-----------|
| 涼豊         | 2001        | 4.15         | 4.18         | 9.12         | 625.5     | 13.8      | 5.3 |             | 3.5       |
| 原木<br>(黒川) | 2002        | 4.08         | 4.13         | 9.30         | 762.1     | 14.2      | 5.1 | 0.07        | 5.9       |
|            | 2003        | 4.17         | 4.22         | 9.29         | 658.1     | 12.5      | 5.0 | 0.06        | 4.5       |
|            | 1994-2003平均 | 4.16         | 4.21         | 9.23         | 603.8     | 13.6      | 5.2 | 0.07        | 5.3       |
|            | 同上標準偏差      | 8.2          | 3.2          | 5.1          | 89.2      | 0.6       | 0.2 | -           | 0.77      |
| 豊水<br>(黒川) | 2002        | 4.09         | 4.14         | 9.10         | 341.4     | 14.2      | 4.7 | -           | 5.0       |
|            | 2003        | 4.20         | 4.24         | 9.16         | 327.6     | 12.4      | 4.4 | 0.12        | 4.6       |

表2 長果枝と短果枝の果そう形質と果実品質の比較 (2003年)

| 樹種  | 側枝<br>形態 | 副芽枝        |            |      | 果梗長<br>(cm) | 果実品質       |            |           |          |     |             |           |      |             |
|-----|----------|------------|------------|------|-------------|------------|------------|-----------|----------|-----|-------------|-----------|------|-------------|
|     |          | 長さ<br>(mm) | 太さ<br>(mm) | 総葉数  |             | 縦径<br>(mm) | 横径<br>(mm) | 果重<br>(g) | 果形<br>指数 | 地色  | 硬度<br>(lb.) | 糖度<br>(%) | pH   | リンゴ<br>酸(%) |
| 原木  | 短果枝      | 22.5       | 7.4        | 12.7 | 3.0         | 94         | 114        | 777       | 0.82     | 4.7 | 4.5         | 12.3      | 4.97 | 0.07        |
|     | 長果枝      | 17.9       | 6.5        | 8.6  | 3.4         | 89         | 108        | 586       | 0.83     | 4.5 | 4.5         | 12.0      | 5.08 | 0.06        |
| 高接ぎ | 短果枝      | 17.5       | 7.2        | 10.4 | 3.3         | 95         | 119        | 760       | 0.79     | 4.7 | 4.5         | 12.9      | 5.16 | 0.06        |
|     | 長果枝      | 67.9       | 6.0        | 9.2  | 4.0         | 88         | 110        | 615       | 0.80     | 4.9 | 4.2         | 13.1      | 5.13 | 0.06        |

注：果そう形質は5月21・22日、果実品質は9月24日調査 調査果そう数は各区とも8果そう

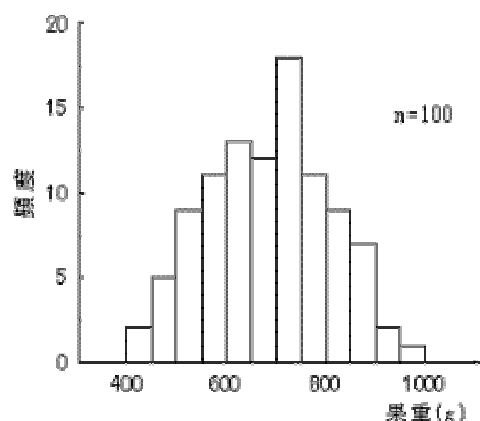


図3 果重の分布 (2003年原木)

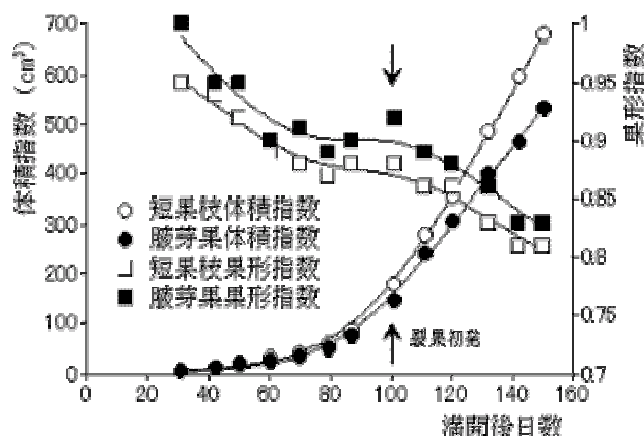


図4 果実肥大と果形指数の推移 (2003年原木)

### Ⅲ その他

#### 1 執筆者

佐藤 守、志村浩雄

#### 2 主な参考文献・資料

## 平成10年～平成15年度試験研究成績書